

RPPC メールマガジン 第 719 号

リサイクルポート推進協議会（平成 30 年 3 月 28 日発行）

■先週・今週の報道発表

先週・今週の報道発表は特にありません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

今週のお知らせは特にありません。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. リサイクルポートを活用し、循環資源流動を支援
2. 酒田港の次期改訂計画へ県が構想検討の作業に
3. 徳山下松港、バルク戦略港で渡橋部工

=====

◆リサイクルポートに関連する最新の情報

1. リサイクルポートを活用し、循環資源流動を支援

国土交通省港湾局は、昨年末から 3 回にわたって議論してきた「リサイクルポート施策の高度化研究会」の議論を踏まえ 3 月 23 日、災害廃棄物、鉄スクラップ、産業副産物等に関する今後の取組方針をまとめた。

①災害廃棄物については、首都直下地震等で発生する大量の木くず等について、リサイクルポート等を活用した広域処理に機動的に対応できるよう、セメント製造業者、製紙業者等と連携し、受入側の条件に合わせた一連の処理フローの構築を進める。

②鉄スクラップについては、昨今の中国・韓国での鉄の需給状況なども見据え、マラッカ海峡以遠への輸送に適した大型船による輸出機能など、安定的な鉄スクラップ資源輸出に向けた港湾利用を調整していく。

また③産業副産物に関しては、鉄鋼スラグ等の港湾事業での活用ポテンシャルが顕在化していることから、その適切な利用促進に繋げる取り組みを進める。供給元・活用先間が情報を共有する「産業副産物等利用促進連絡会（仮称）」の設置を予定している他、CO2 吸収が期待できるブルーカーボン生態系への製鋼スラグ等の

一層の活用を進める。

港湾局では今回のとりまとめを踏まえ、リサイクルポート推進協議会等との連携を一層深めつつ、鉄スクラップ資源の国際流動、港湾を活用した災害廃棄物の広域処理、産業副産物等の有効利用を更に推進し、港湾を通じた循環型社会形成の取組を強化していく。

.....

2. 酒田港の次期改訂計画へ県が構想検討の作業に

山形県はコンテナ貨物の急増や外航クルーズ船の寄港増、再生可能エネルギー発電施設の立地等、酒田港を取り巻く情勢変化に対応するため、酒田港の中長期構想を策定し、酒田港港湾計画を改訂する。

中長期構想は概ね20～30年先の構想ビジョンをまとめる。港湾計画の次期改訂は、今後10～15年程度の将来を目標年次として、港湾の開発、利用及び保全の方針を明らかにし、取扱貨物量予測に対応した港湾施設の規模・配置、土地利用計画等を示す。

.....

3. 徳山下松港、バルク戦略港で渡橋部工

中国地方整備局宇部港湾・空港整備事務所は、徳山下松港下松地区の水深19m岸壁整備で、栈橋と陸側を結ぶ渡橋部の仮受杭の打設工事の手続きを開始した。徳山下松港下松地区の水深19m岸壁整備に関わる工事で、海上部に着手するのは今回が初めて。同整備事務所では準備が整い次第、残っている渡橋部や栈橋本体の工事にも着手していく予定。

現在手続き中の渡橋部の仮受杭は、渡橋部のジャケットを受け止めるために必要な杭。渡橋部ジャケットは斜杭による設置を予定しており、仮受杭にジャケットを乗せた後、固定のための杭を打っていく。

【港湾空港タイムス 18年03月26日号、他から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長代行：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

ツネイシカムテックス（株）

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。